

# 紙ふうせん

KAMIFUSEN NO.57

成田市立図書館だより 第57号 2004年（平成16年）3月25日発行

編集 成田市立図書館 〒286-0017 成田市赤坂1-1-3 ☎ 0476-27-4646

FAX 0476-27-4641

<http://www.library.narita.chiba.jp>



0、1才のおはなしかいの様子です

# 2003年 貸出・リクエストの多かった本

## 一般書

2003年の話題の本は、なんといっても養老孟司著の『バカの壁』があげられる。発売から話題を集め200万部以上の売れ行きとなった。また、2001年に出版された片山恭一著『世界の中心で、愛をさけぶ』が100万部以上売れ、小説では浅田次郎著『鉄道員』以来のミリオンセラーとなった。図書館でもこの2冊はリクエストが多く、現在も50件以上の予約が入っている。その他話題になったものに、人気テレビ番組の関連本『冬のソナタ上・下』『トリビアの泉1～4』『ベラベラブック』『半落ち』『あたしんち1～9』などにリクエストが多く寄せられた。メディアなどで人気・話題になった本に予約が集中する傾向は、一段と強くなっているように思われる。

また今年も、江戸開府400年でその関連本が多く出版された。

## 貸出ベスト10

- |                                    |                                      |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 模倣犯 上・下<br>宮部みゆき／著 小学館          | 6. ゲームの名は誘拐<br>東野圭吾／著 光文社            |
| 2. 半落ち<br>横山秀夫／著 講談社               | 7. よく見る夢 上・下<br>シドニィ・シェルダン／著 アカデミー出版 |
| 3. 贄門島 上・下<br>内田康夫／著 文藝春秋          | 8. さくら日和<br>さくらももこ／著 集英社             |
| 4. あたしんち 1～9<br>けらえいこ／著 メディアファクトリー | 9. ハリーポッターと秘密の部屋<br>J.K.ローリング／著 静山社  |
| 5. 江戸の精霊流し<br>平岩弓枝／著 文藝春秋          | 10. バカの壁<br>養老孟司／著 新潮社               |



## わたしのおすすめの1冊

### スロートラベル

#### フェリーボートで行こう！

カベルナリア吉田／文・写真 東京書籍

この本は、国内各地や海外を結ぶフェリーボートによる旅を文章と写真で紹介しています。

北は樺太の科尔サコフから南は台湾の高雄まで、国内外の都市や観光地、離島など16の航路について、著者の乗船体験が記されています。

冒頭で著者が「時間がかかるから楽しい、心地よい 目的地に着くまで、を存分に味わう船の旅へ」と述べているとおり、本書の全編にわたって、船旅の魅力が語られています。

### 野火

大岡昇平／著

この作品は昭和27年に出版され、読売文学賞を受賞した。作者と同年代に太宰治や松本清張などがある。

作者本人の一兵士としての戦争体験を基に書かれた衝撃の本である。人間が極限状態に置かれたとき、本来の人間としてどのような行動を取れるか。歴史上に「正義としての戦争」や「聖戦」があるのか。

この平和な時代にこそ一度読んでもらいたい一冊である。

### ホビット ～ゆきてかえりし物語

J・R・R トールキン／著 山本史郎／訳 原書房

「寂しい山」に巣くう邪竜を倒す旅に出る主人公達。小人族の彼らが様々な危険に遭遇しながらも智慧と運で乗り越えていく姿はとても痛快です。1つの冒険物語としても読み応え充分ですが、映画化により話題となった『指輪物語』の前編としても楽しめます。映画へ繋がる場面が多数登場するので映画の世界観をより理解できます。また、長編の『指輪物語』は読了できなかった方にも、こちらは平易な文章で書かれているので読んでほしいと思います。

## 骨の学校

盛口満・安田守／著 木魂社

ブタの足の指は何本あるか知っていますか？眺めてみただけではわからないことも骨になれば一目瞭然。タヌキもマグロもニワトリも、いつもとは違った姿を見せてくれます。

この本では、身近な動物たちを題材に、骨格の仕組み、標本の作り方をたくさんの図版や写真とともに学ぶことができます。

埼玉の中高生と理科の先生が実際にやってみた骨の標本作り。あなたの部屋にもひとついかが？

## 野菊の墓

伊藤左千夫／著

成東町出身の著者が、41歳の時に書かれた処女作で、明治39年1月号の『ホトトギス』に発表。夏目漱石は「自然で、淡泊で、可哀想で、美しくて、野趣があって結構です。…」と称賛。政夫と二つ年上の民子に恋が芽生えると、世間体を気にした親は二人を引き離し、民子を嫁がせる。病死した民子の手には、政夫の写真と手紙が握りしめられていた。政夫に民子の死を知らせる場面は涙を誘う。淡く切ない恋の物語。不朽の名作。松戸市が舞台。

## 夜の語り部

ラフィク・シャミ／著 西村書店

1950年代、シリアのダマスカス。人々の楽しみは、コーヒーと水パイプと物語。言葉を失った物語の名手サリムじいさんを救うために、7人の友人達が毎夜とっておきの話を語って聞かせます。街の様子や人々の暮らしぶりも生き活きと描かれていて、まるでサリムじいさんと一緒に歩いているような臨場感。賑やかなバザールを覗き、子どもたちの遊ぶ裏路地を抜け、家に帰るとお茶を用意して……さあ、お話の時間の始まりです。

## 無意識の構造

河合隼雄／著 中央公論社

無意識とはどういう世界なのか、このことをユング派の心理療法家として著名な河合隼雄氏がこころの深層という視点から説明しています。私が高校生 のときに出会った本ですが、人間とはどういう存在なのか、社会とはどういったものなのかという問いに対して、心理学という学問が答えられるのではな

いかと思わせてくれ、心理学を専攻するきっかけとなった本です。夢についてや個人的無意識、普遍的無意識、元型といった概念をわかりやすく説明してくれています。

## 真実一路

山本有三／著 新潮社

一見平和な家庭に育った義夫少年は、ふとしたことで死んだとされている母が生きていると思い、思慕を抱くようになる。何も語らぬ父、そして姉のしず子は、母が愛人のもとへ去ったこと、また自らの出生の秘密を知りひとり苦悩する。傷つきながらも、人生を忠実に生きようとする人々の真摯な姿を描いた名作。

## 風の十二方位

アーシュラ・K・ル＝グイン／著 早川書房

アメリカの女流作家アーシュラ・K・ル＝グインはファンタジー『ゲド戦記』で有名ですが、元々はSF作家でした。この短編集はル＝グインの、SFとファンタジーが融合したような資質をよく表している作品集です。実際に『ゲド戦記』の元になった話も含まれています。彼女の娘が言った、空箱の中には暗闇が入ってる、という一言から生まれた話や、変わった題だが読後余韻の残る「帝国よりも大きくゆるやかに」など、それぞれ趣はとりどりながら、言うなれば風の十二方位のように響きあう話が収められています。一話ずつは短めで、SFはあまり得意でない人でも読みやすいと思います。

## ファンタジー・ブックガイド

石堂藍／著 国書刊行会

ファンタジーのブックガイドは今までもいろいろと出版されていますが、最近出されたこの本の大きな特徴と言えるのは、この人自身の主観的意見をあえて前面に出して各作品を論じている所です。そこが多少賛否の分かれる点でもあるのですが、著者と意見を交わすようなつもりで読んでいくと、きっと自分でも読んでみようと思える本が見つかるでしょう。扱っている範囲も広く、エネルギーにもりもりと本を紹介していく著者の情熱が伝わってくる本です。





えほんと  
あそぼう

# —0、1才のおはなしかい—

図書館では0、1才児のためのおはなし会を始めました。

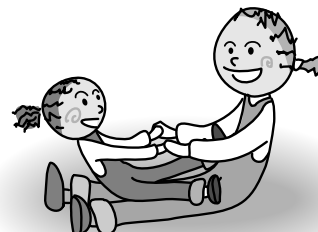
わらべうたやえほんの読み聞かせを中心に、おとうさんおかあさんと赤ちゃんと一緒に参加してもらうプログラムです。また、お勧めの絵本の紹介なども行っています。

## 紹介しているわらべうた（一部）

ちゅっちゅ こっこ とまれ  
ちゅっちゅ こっこ とまれ  
とまらにゃ とんでけー！

うまはとしとし ないてもつよい  
うまはつよいから のりてさんもつよい

「あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん」のら書店より



## 紹介している絵本（一部）

「おつきさまこんばんは」 林 明子／さく 福音館書店  
「がたんごとん がたんごとん」 安西水丸／さく 福音館書店  
「いない いない ばあ」 松谷みよ子／文 瀬川康男／絵 童心社

## 赤ちゃんも絵本が大好き Part 5 ～歌のある毎日を～

赤ちゃんとの毎日、いかがお過ごしですか？生まれてからしばらくの間は、おっぱい、おむつ、ねんねの繰り返しで、あっという間に月日が流れて行きますが、やがて、赤ちゃんがこちらを見つめ、「アーウー」とお話をするようになったり、声をたてて笑うようになると、「童謡を歌ってあげたいな」と思う方もいることでしょう。でも、子どもの頃に歌ったはずなのに、大人になった今ではうる覚え…という歌もあるのではないでしょうか。そんなママやパパのために、図書館の「はじめてであう本」のコーナーには、童謡の絵本があります。歌詞だけでなく楽譜も載っていますから、メロディーを忘れていても大丈夫。寝かしつける時はもちろん、お風呂であたたまりながら、お散歩しながら、気が向いた時に、知っている歌を歌ってあげませんか？上手でなくてもよいのです。自分のためだけに歌ってくれる優しいママやパパの声は、きっと赤ちゃんの心に安らぎと豊かさを与えてくれることでしょう。

「うたえほん I・II・III」 つちだよしはる／絵 グランママ社  
「いっしょに うたって！」 「いっばい うたって！」 ましませつこ／絵 こぐま社



## 編集後記

昨年の3月に富里市立図書館が、そして9月には酒々井町立図書館と、この1年で成田市に隣接する2つの自治体に、新しい図書館がオープンしました。友の誕生は、うれしい限りです。ただ1つのことを除いて…。その1つというのは、互に他の図書館の本が間違えて返却されるということなのです。複数の図書館を利用されている方にお願ひします。カウンターに置かれる前に、もう一度所蔵館の確認をして下さい。

今号では、年間貸出ベスト本の他に、図書館員による「わたしのおすすめの1冊」をご紹介します。ちなみに、わたしのおすすめの1冊は『自分の木の下で 大江健三郎／著』です。本の中で「取り返しのつかないことは（子供）にはない」と作者が言っているように、悩み多い年齢にさしかかってきた人達に、そして新年度を迎えるこの時期に、手に取ってもらえたらと思う作品です。

皆さんの「おすすめの本」には、どんな作品がありますか。下さい。

成田市立図書館だより  
発行 成田市  
編集 成田市立図書館  
〒286-0017 成田市赤坂1-1-3  
☎0476-27-4646  
発行日 2004.3.25  
登録番号 成教図03-052